

5 月 17 日に「合同巡検講演会 海洋生物」が、6 月 7 日に「合同巡検講演会 考古学」が行われ、それぞれの分野の専門の方々が講演をしてくださいました。海洋生物の講演会では、浅虫海岸の特徴や生息生物について、また考古学の講演会では、考古学の魅力や考古学によってわかる縄文時代の東北について講演していただきました。どちらの講演会も合同巡検に行く上で欠かすことのできないとても大切なもので、テーマ決めなどの大きなヒントとなったのではないのでしょうか。

「浅虫海岸の生物と海洋生物調査法」

(東北大学大学院生命科学研究所附属浅虫海岸生物教育研究センター 武田哲先生)



海岸の水環境に関する基本知識から、浅虫に生息する生物の具体的な調査方法まで、詳しく説明していただきました。講演を受けて、合同巡検に対するイメージを大きく膨らませることができたのではないのでしょうか。

- ・浅虫海岸では岩礁と転石が交互に出現する。
- ・潮汐によって岩礁は「潮上帯」「潮間帯」「潮下帯」の 3 つに分けられる。
- ・3 つの環境は大きく異なるため、生息する生物にも違いがある。
- ・生態調査法には生態分布を調べるラインゼクト法（垂直分布）と密度を調べるコドロード法（枠とり法）がある。

○転石に生息する生物の例

フナムシ、イソガニ、ウニ、イソギンチャク

○岩礁に生息する生物の例

潮上帯…タマキビ、カモガイ、イワガニ

潮間帯…イワフジツボ、ムラサキインコガイ、イボニシ、クモリアオガイ、ヨメガカサガイ、コガモガイ、ヒメケハダヒザラガイ、ババガセ、シシマフジツボ

潮下帯…エゾヒトデ、イトマキヒトデ



以下、生徒の感想を一部抜粋して掲載しております。

- ・浅虫に生息する生物の多さに驚いた。研究の前の下調べが大切ということもわかった。今回の講演により、研究対象の決定が楽しみになった。
- ・自分の知らない不思議な生物が多くいて面白いと思った。武田先生は研究のポイントも話して下さったのでためになった。講演を生かしていい研究ができるように協力していきたい。
- ・アメフラシの紫色の煙についての実験が、手順を考えることも含めて面白そうだったと思った。多く見られる年とそうでない年があるようなので、今年は見られる年であるといいと思う。
- ・幼い頃から海は身近な存在だったが、今回の講演で既に知っていた生物も知らなかった生物もどちらも詳しく知ることができ、とても勉強になった。

「縄文時代の東北地方～三内丸山遺跡を中心に～」 (宮城県教育庁 文化財課技術補佐 佐藤憲幸先生)



三内丸山遺跡を中心とした縄文時代の東北地方についての説明をしていただきました。私たちが習ってきたものとは異なるものも多くありました。

・土器が初めて作られたのはいつ？

私たちが中学校の時に使っていた教科書には、土器1万年、もしくは1万2千年前から作られ始めたとされていますが、年輪年代方法、AMSといった方法で分析した結果、土器は1万6千年前から作られているという説が出され、今はそれが有力な説とされています。

・東北に縄文時代は二度あった。

東北では、稲作が伝わり弥生時代に入った後、寒さなどの関係により、一度それをやめ、また縄文時代の生き方に戻ったと考えられています。人間が管理して作物を育てる弥生時代の生き方より、自然の恵みを楽しむ形の縄文時代の生き方が、東北の人々にあっていたのかもしれない。

・土器は人類が初めて生み出した科学技術？

粘土を高温で焼くとセラミックになります。そしてその技術は、現在のファインセラミックスにも使われています。それはつまり、今現在も使われている技術の始まりは、縄文時代にまで遡ることなのです。

以下、生徒の感想を一部抜粋して掲載しております。

教科書の知識しかなかった縄文、弥生時代について、さらに学ぶことが出来ました。歴史は化学とつながる部分などないと思っていましたが、縄文時代の代表ともいえる土器が化学と大きく関わっていて驚きました。また、教科書にはほとんど載っていない東北地方の縄文時代の様子を知ることができて、良かったです。

私が中学校1年のときに学んだことさえも今ではすでに新しいことが発見されて内容が変わっているかもしれないと思うと、今後の歴史の学習に意欲がわいてきた。歴史に関わらず、今までずっと信じられてきたものを疑って新しいことを発見するのはとても楽しいことだと気付いた。

編集後記

今回の2つの講演会から、7月の合同巡検で三内丸山遺跡や浅虫海岸へ行く目的が少しはつかめたのではないのでしょうか。是非今回の講演会でわかったこと、得たものを存分に生かして実りある合同巡検になるようにして行って下さい。また自ら合同巡検での目標をしっかりと持ち、それが達成できるようにしっかりと計画を立てていきましょう。最後に、お忙しい中来ていただいた講師の方々に、感謝申し上げます。ありがとうございました。